

大阪 R e p o r t リポート



長野県 PR キャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

長野県大阪事務所・観光情報センター Report Letter Vol. 50 (2026. 7. 8)

関西の今＜トピックス＞

●＜アフター万博＞国際園芸博覧会でも大阪・関西万博の建築資材を再利用

・2027年に横浜市で開催される国際園芸博覧会「GREEN×EXPO2027」には、大阪・関西万博のレガシー（遺産）として、建築資材が再利用される。全長92メートルのメインゲートには、「アイルランドパビリオン」の外装で使用された資材が、3棟が連なる屋内出展施設には、「ウーマンズパビリオン」で使用した資材が用いられる。

・大阪・関西万博跡地の中心部再開発について、基本計画の最終版が発表された。対象敷地を5区画に分け、核となるエンターテイメント施設に加え、一部を保存する大屋根リングを含む記念公園を整備。開発事業者の募集を経て、2027年2月ごろに選定予定。

・大阪・関西万博公式キャラクター「ミャクミャク」のモニュメントが大阪・ミナミ「かに道楽道頓堀本店」前に。3か月ごとに府内を巡回する計画の一端。8月31日まで。



●＜観光＞姫路城は市民以外1500円値上げ。注目される二重価格の導入

・訪日外客の増加を受け、住民と観光客で料金などに差をつける二重価格の導入が増えている。関西では、兵庫県姫路市において姫路城の入場料を市民以外は1,500円値上げ。京都市においては、市民以外のバス料金を最大2倍にすることが検討されている。

北九州市でも小倉城など4施設で市民以外は100～200円高い設定とするなど、観光振興と住民生活のバランスを保つ手段として今後の展開が注目される。

・5月の訪日外客数は355.9万人で、前年同月比3.6%減となったものの、韓国、台湾、米国、マレーシアなどで5月として過去最高を記録。中国は31.3万人で60.4%減であったが、韓国は95.1万人で前年同月比15.2%増、台湾は61.6万人で前年同月比14.6%増。継続する訪日旅行人気に加え、航空座席数が増加したことなどが客数を押し上げ。

・2025年の来阪日本人旅行者数は、前年比50%増の3,886万人に。旅行消費額は、53%増の2兆1,094億円を記録。大阪・関西万博の特需。

●＜産業・経済その他の話題＞進む「地域一体型オープンファクトリー」。全国で大阪がトップ

・地域の中小企業が連携し、ものづくりの現場を一般公開、体験できる「地域一体型オープンファクトリー」が増えている。2025年は全国60件実施のうち、トップは大阪府の11件、兵庫県は6件で2位、次に、京都府と和歌山県がそれぞれ2件と並ぶ。一般消費者との接点の拡大や会社の技術の再認識、マッチングのきっかけになるなど今後の広がりが期待される。

・関西国際空港第1ターミナルの改装工事が完了。ウォークスルー型の免税店やラウンジを集約するなど日本の空港では珍しい設計で利便性を向上し、アジアからの外客需要を取り込みたい考え。

大阪での取り組みの今

最近の取組みを紹介

★「日本列島心のふるさと観光展」

（6/10-24：JR 北新地駅みちまちスクエア）

在阪事務所が協働して PR コーナーに出展。7月30日から8月28日まで運航する信州まつもと空港-大阪（伊丹）空港線をはじめ夏の信州をポスターとパンフレットで PR。



★「本州まんなかあたりの観光展」

（6/12-13：大阪市天神橋筋二丁目商店街）

在阪関東甲信越5県（栃木・群馬・山梨・長野・新潟）の在阪事務所が連携して夏の観光をアピール。長野県は、夏の信州観光の情報発信のほか、野沢菜、ジャム、リンゴジュースなどを販売。5県それぞれの PR に商店街が賑わった。



★「楽園信州移住セミナー」

（6/27：シティプラザ大阪）

「移住したいと思ったら～何から始めればいい？～」をテーマに信州暮らしの魅力を伝えるセミナーと個別相談会を開催。

当日は、13組20人が参加。県担当者からの説明や先輩移住者へのインタビューの後、参加市村等によるプレゼンテーション。個別相談会では、各市村担当者の丁寧な説明に参加者は、頷きながら耳を傾けていた。



★「初夏のおいしい信州フェア第1弾（レタス販売）」

（6/23、6/30：大阪駅前第一ビル地下2階特設ブース）

信州野菜推進協議会、JA全農長野と連携し、朝採れの長野県産レタスのほかブロッコリー、ズッキーニなど信州の夏野菜を販売。

7月2日の長野県レタスの日も PR。

販売員の大きな掛け声に大勢の方が集まり、レタス数玉を買うお客様も。長野県のレタスを積極的に PR した2日間となった。



★「初夏のおいしい信州フェア第2弾（生あんず等販売）」

（6/30-7/1：大阪観光情報センター内）

この時期だけの初夏の味、生あんず（ハーコット）、ほおば巻、その他牛乳パンなど信州の特産品を販売するとともに、夏の信州の観光案内を実施。例年の実施に、多くのリピーターで賑わった。



★「戦国武将ゆかりの地 観光展+物産展」

（7/4-5：大阪市天神橋筋二丁目商店街）

戦国武将にゆかりのある都道府県による、観光 PR と特産品販売。

長野県は、真田幸村ゆかりの上田市を中心にパンフレットを配布。



今後の観光物産展・イベント等の予定

★「日本列島心のふるさと観光展」

(7/13-7/27: JR 北新地駅みちまちスクウェア)

在阪事務所が協働して PR コーナーに出展。7月30日から8月28日まで運航する信州まつもと空港-大阪(伊丹)空港線のほか、夏の信州をポスターとパンフレットで PR。

★「おいでや! いなか暮らし移住フェア 2026」

(7/18: 天満橋 OMM ビル 2 階ホール)

西日本最大規模の移住相談イベント。全国から 170 以上の自治体・団体が大集合! 「移住の学校」として、「現地視察の基本」、「地域との関わり方」などの特別授業を開講。

長野県からは、長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、伊那市、駒ヶ根市、大町市、茅野市、佐久市、千曲市、安曇野市、阿智村、諏訪湖・八ヶ岳エリアの 14 団体が出展。

★「伊丹松本便就航イベント」

(7/30: 大阪国際空港(伊丹))

7月30日から8月28日の間の限定で、JAL 信州まつもと⇄大阪(伊丹)線を就航。初日の便に合わせ、空港で JAL、J-AIR と連携して利用促進や信州観光の PR を実施。

★「旬のとうもろこしの販売」

(8月6日: 大阪観光情報センター内)

信州の夏の味覚であるとうもろこしやその他各物産を販売。
また、夏から秋にかけての観光を PR。



★「鴨川納涼 2026」

(8/1(土)17:00~21:00・8/2(日)17:00~20:00:

京都市鴨川三条大橋~四条大橋 右岸(西側)河川敷)

京都の夏の風物詩。各県の県人会が参加して、ふるさとの特産品を販売。京都長野県人会では、「ふるさと屋台・交流サロン」を設置。駒ヶ根リゾートも参加して、地ビールやソースかつ棒を販売予定。



★「JR Snow Resort 2026-2027 イベント」

(8/3-4: JR 大阪駅大阪ステーションシティ

ノースゲートビル 2F「アトリウム広場」)

信州・新潟エリアのグリーンシーズン、スノーシーズンの魅力を PR。トークショーや参加市町村の体験アクティビティやゲームなどを予定。



／ おいでやす！ ／
長野県ゆかりの飲食店



【長野県ゆかりのポイント】

- 長野県大阪事務所・大阪観光情報センターから

- ＜お問い合わせ＞ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

